

科目名	比較社会論				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次
教員名	前川 真裕子			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

本授業では、比較することの難しさについて、「差異化」という鍵概念と共に学んでいく。特に、我々の社会の中で差異化されている「男／女」、「神聖／穢れ」、「正常／異常」、「白人／黒人」、「西洋／東洋」、「近代／伝統」といったさまざまな分類を、フランツ・ファノン、ミシェル・フーコー、エドワード・サイード、アーヴィン・ゴッフマン、ミシェル・フーコーといった人々の著作を読解しながら考察していく。我々が日々おこなっている二分法に基づいた差異化が、単純な比較を招いてしまうことを批判的に考察することを目標とする。注意点としてこの授業は対面とオンデマンドの両方を活用し授業を進めます。オンデマンド授業の日程は第一回目の授業で詳細を説明します。オンデマンド授業は数回程度予定しています。また急遽、オンデマンド授業の日程が変更される場合があります。その場合は事前に授業中に周知しますので必ず授業には毎回参加するようにしておいてください、あるいは定期的にムードルをチェックし確認するようにしておいてください。毎回のトピックは予定ではこの順番で行こうと思っていますが、変更することもありますので、その点を確認の上で授業を受けてください。

留意点として、この授業では各自で授業ノートを作って、授業中に説明されたことを手書きで書き写してもらいます。手書きで書き写すことによってアナログではありますがより授業内容を記憶に留めることにつながると考えます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：反転授業）
- コメントペーパーでの意見交換など

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：イントロダクション

私たちは日々の生活の中で言葉を使いながらさまざまなものを比較し世界を認識可能なものとしています。しかし、AとBを比較するということは、両者の間に「差異」を設けることでもあります。初回授業は、私たちの身近にある「言葉」に注目し、言葉によって何かを比較するときに生まれる差異を言語学者フェルディナン・ド・ソシュールの分析と共に学んでいきます。

第2回 テーマ：オリエンタリズム その1

比較英文学者のエドワード・サイードの著作『オリエンタリズム』を解説しながら、西洋と東洋の間に生み出されてきた差異について学んでいきます。西洋が異文化の他者である東洋を一方的に「表象」する問題を考察していきます。

第3回 テーマ：オリエンタリズム その2

比較英文学者のエドワード・サイードの著作『オリエンタリズム』を解説しながら、西洋と東洋の間に生み出されてきた差異について学んでいきます。西洋が異文化の他者である東洋を一方的に「表象」する問題を考察していきます。

第4回 テーマ：黒い肌と白い肌 その1

精神科医でもあったフランツ・ファノンの著作『黒い皮膚・白い仮面』を紹介しながら、肌の色が黒いこと白いことについて学んでいきます。「人種概念」が意図的に構築されてきたものであることを考察すると共に、フランスの植民地下に「ニグロ」として生まれたファノンが経験した植民地主義的病理について紹介していきます。

第5回 テーマ：黒い肌と白い肌 その2

精神科医でもあったフランツ・ファノンの著作『黒い皮膚・白い仮面』を紹介しながら、肌の色が黒いこと白いことについて学んでいきます。「人種概念」が意図的に構築されてきたものであることを考察すると共に、フランスの植民地下に「ニグロ」として生まれたファノンが経験した植民地主義的病理について紹介していきます。

第6回 テーマ：ファノンとネグリチュード運動

ファノンが深く関わったネグリチュード運動について、彼の著作『地に呪われた者』などを紹介しながら解説

していきます。エメ・セゼールなどネグリチュード運動を提唱し、ファノンに影響を与えた人々についても紹介していきます。肌の色が黒いことに肯定的な価値を見出そうとするファノンのネグリチード運動に迫ります。また、実存主義者であるジャン＝ポール・サルトルが考えるネグリチュード運動と、ファノンが考えるネグリチュード運動の齟齬を解説していきます。実存主義を批判的に考察しながら、ファノンがサルトルにつぎつけた課題を学んでいきます。

第7回 テーマ：これまでの振り返り

中間テストに備えてこれまでのテーマについて復習を行っていきます。授業を見逃した人は必ずここで復習をし中間テストに備えるようにしてください。

第8回 テーマ：中間テストとその解説（ムードルでテストを受験してもらいます。）

これまでに学んだ箇所全てがテスト範囲となります。ムードルでセッティングしてあるテストを受けてください。その後、答えの解説をしていきます。

第9回 テーマ：異常と正常

ミシェル・フーコーの『狂気の歴史』を解説しながら、どのような人々が「異常なもの」というカテゴリーに分類されてきたのか、その歴史の変遷を学びながら、我々がなにげなく思い込んでいる「異常なもの」が各時代によって異なる意味を持つものであることを学んでいきます。

第10回 テーマ：近代医学と異常者

エッセイストであり自閉症である東田直樹さんの『自閉症の僕が跳びはねる理由』を紹介しながら、フーコーが批判的に考察する「異常／正常」の分類について改めて考えていきます。私たちは身近な存在である自閉症の人々を深く知ることなく、単に「異常者」と考えてはいないでしょうか？

第11回 テーマ：女と男の性自認

私たちは男と女という性別二元制が中心となっている現代社会で生きています。「女」と「男」の枠組みは、私たちの性自認にどのような影響を与えているのでしょうか？

第12回 テーマ：トランスジェンダーと現代社会

性別二元制の枠組みを越えて生きるトランスジェンダーの人々について紹介していきます。主に性同一性障害などのことに触れていきます。性別二元制を中心とする社会の中で彼らはどのような思いを抱えて生きているのでしょうか？90年代以降、医療や法制度が整備されることによって変化した彼らの生活や、彼らが抱える問題を考察していきます。

第13回 テーマ：これまでの振り返り

期末テストに向けて復習の回を設けます。これまで学んだすべてのテーマについて1つずつ復習していきたいと思います。どこかで休んだ方は必ずここで総復習を行っていきます。

第14回 テーマ：期末テストとその解説（ムードルでテストを受験してもらいます。）

期末テストを行います。期末テストの範囲はこれまでに習ったすべてのテーマとなります。ムードルにセッティングしておきますので提出してください。その後、答えの解説をしていきます。

★オンデマンド配信（コメントペーパー提出あり）

これまで授業で紹介したテーマについての総括および質疑応答を受け付けます。また、自分が1番興味を持ったテーマについてコメントを書いてください。あらかじめムードルにコメントペーパーを書く欄をセッティングしておきますので、各自で書いて 授業終了後1週間以内に提出するように。テーマは1つに絞る必要はありません。オンデマンドの動画は1週間視聴可能です。改めて授業で学んだ重要な点を総括し確認すると共に、質疑応答を受け付けます。質疑応答は13回目授業の終了までに担当教員のメールアドレスに送信してください。その解答をオンデマンドの質疑応答の時間に行います。その後、興味を持ったキーワードや概念等についてコメントペーパーを提出してもらいます。オンデマンドの動画は1週間視聴可能です。総括15分、質疑応答45分、コメントペーパー作成と提出30分、合計90分

事前・事後学修／Preparation and assignments

* 各授業を受ける前には事前の学修とし、各授業が終わった後も復習の時間として、次に示す事柄に取り組むこと。授業中に提示する参考文献以外の関連本を図書館等で読み学習することも含め、事前事後あわせて2時間程度学修するように。

第1回 テーマ：イントロダクション

【事前学修】 大学の図書館ホームページなどで関連する書籍を検索し、目を通しておく等して下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。分からない部分はノートに書き出して
おいてください。次回の授業中に質問を受け付けます。

第2回 テーマ：オリエンタリズム

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。さらに深く理解したい場合は、エドワ
ード・サイードの『オリエンタリズム』を参照してください。

第3回 テーマ：オリエンタリズム

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。また新聞の記事などを読み、イスラム教やアラブ社会をめぐり、どのような報道がされ
ているのか各自考察しておいてください。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。分からない部分はノートに書き出して
おいてください。次回の授業中に質問を受け付けます。

第4回 テーマ：黒い肌と白い肌

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。分からない部分はノートに書き出して
おいてください。次回の授業中に質問を受け付けます。

第5回 テーマ：黒い肌と白い肌

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。さらに深く理解したい場合は、フラン
ツ・ファノン『黒い皮膚 白い仮面』を参照してください。

第6回 テーマ：ネグリチュード運動

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。さらに深く理解したい場合は、エメ
・セゼール『帰郷ノート』を参照してください。

第7回 テーマ：これまでの振り返り

〔事前学修〕 これまでの授業のノートを確認しておいて下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。

第8回 テーマ：中間テストとその解説（ムードルでテストを受験してもらいます。）

〔事前学修〕 大学HP Moodleにアクセスし、 中間テストを行ってください。

〔事後学修〕 何か質問がある場合はその次の授業中に質問してください。

第9回 テーマ：異常と正常

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。さらに深く理解したい場合は、ミシェ
ル・フーコー『狂気の歴史』を参照してください。

第10回 テーマ：近代医学と異常者

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。さらに深く理解したい場合は、ミシェ
ル・フーコー『臨床医学の誕生』を参照してください。

第11回 テーマ：女と男の性自認

〔事前学修〕 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情
報を集めるなどして下さい。

〔事後学修〕 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。

第12回 テーマ：トランスジェンダーと現代社会

【事前学修】 図書館やインターネットなどで授業テーマに関連するキーワードを検索し、 自分のできる範囲で情報を集めるなどして下さい。

【事後学修】 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。

第13回 テーマ：これまでの振り返り

【事前学修】 これまで書きとった自分のノートを改めて確認しておいてください。

【事後学修】 授業中にノートに書き写した内容を復習しておいてください。分からない部分はノートに書き出しておいてください。次の授業中に質問を受け付けます。

第14回 テーマ：期末テストとその解説（ムードルでテストを受験してもらいます。）

【事前学修】 大学HP Moodleにアクセスし、 これまで自分で書き写したノートを参照しておいて下さい。

【事後学修】 何か質問がある場合は解説時に質問してください。

★オンデマンド配信（コメントペーパー提出）

【事前学修】 これまでのこれまで自分で書き写したノートを総復習しておくこと。 また授業中に興味を持ったキーワードなどをピックアップし、 コメントペーパーを書く準備をしておいてください。

【事後学修】 何か疑問に思ったことや知りたいことがあった場合は担当教員のメールアドレスまでメッセージをください。

授業の到達目標／Expected outcome

本授業では何かと何かを比較することが差異の構造を生み出すものであることを理解し、その構造が差別構造とも関わりがあることを批判的に考察できるようになることを目標としています。また教員や他の学生とのディスカッションを通じて、積極的に議論へ参加するコミュニケーションの能力を養っていきます。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

専門知識・専門技能

【現代社会学部 現代社会学科】

・社会学をはじめとする社会科学における基盤的技能

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・ 受講態度によっては厳しく対処する。特に他の学生の迷惑になるような授業中の私語等を厳しく禁じています。
- ・ 上記を踏まえた授業態度が目に見えれば減点の対象とし成績から点数を引くので注意してください。
- ・ 中間テストや期末テストを休んだ場合の追試験や代替の課題は行いません。
- ・ 授業の内容は、学生たちの意見も取り入れつつ、その都度の変更を加える場合がありますので注意してください。
- ・ 本授業では状況にあわせて授業内容を変更する場合がありますことに留意しておいてください。
- ・ 授業に適した映像資料を入手できた場合は、それらを使いながら授業を進めていくこともあります。
- ・ 各授業は進捗具合によっては次の回へとまたがる場合もあります。

評価方法／Evaluation

- ・ 中間テスト（ムードルを活用する）50%
- ・ 期末テスト（ムードルを活用する）50%

教 材／Text and materials

- ・ 教科書：なし
- ・ 配付レジュメ、資料等、大学HP 学習支援システムMoodle(URL: <https://cclms.kyoto-su.ac.jp/>)
- ・ 参考図書等：エドワード・サイード『オリエンタリズム』上・下（1993, 平凡社ライブラリー）、フランツ・ファノン『黒い皮膚 白い仮面』（1998, みすずライブラリー）、ミシェル・フーコー『狂気の歴史』（1975, 新潮社）、東田直樹『自閉症の僕が跳びはねる理由』（2007, エスコアール）

質問や相談の方法／Instructor contact

質問等がある場合は以下のオフィスアワー時にアポイントメントを取った上で質問に来てください。担当教員のメールアドレスは初回の授業でお知らせします。

オフィスアワー

研究室 第六研究室棟 4F

火曜日昼休み(12:15～13:15)